

新宿区議会だより

発行：新宿区議会 ☎(3209)1111(代表)
〒160-8484 新宿区歌舞伎町一丁目4番1号
ホームページアドレス <http://www.city.shinjuku.lg.jp/kusei/index08.html>



No. 295

令和3年(2021年)1月1日発行

今号の主な内容

- 各会派・新年あいさつ…2、3面
- 第2回臨時会・第4回定例会
議案の概要と審議結果……4面
- 令和2年度上半期
政務活動費・議長交際費…4面
- 区政のここを問う！
代表・一般質問……5～7面
- 委員会の動き……8面
- 請願・陳情の審議結果……8面

あけましておめでとうございます



国立競技場（オリンピックスタジアム）

新宿区議会議長

吉住 はるお



新年の
ごあいさつ

あけましておめでとうございます。区民の皆様には、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症が世界的に大流行し、医療の混乱や経済活動の停滞による景気悪化など、各国で甚大な被害をもたらしました。新宿区においても区民生活に多大な影響を受け、総額469億円の補正予算を議決し、新型コロナウイルス対策と区民生活の安定を図るため、様々な施策に取り組みました。

一方、将棋界では藤井聡太さんが最年少で二冠獲得、フィギュアスケートでは羽生結弦さんが男子で世界初の六冠を手にする「スーパースラム」を達成、競泳では池江璃花子さんが白血病を乗り越え競技大会に復帰するなど、若い力に勇気を貰った年でした。

さて、本年は昨年延期となった東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。人類がウィルスに打ち勝った証として、後世の記憶に残る大会となるよう、区議会と区長部局が連携し、成功に向けて取り組んでまいります。また、ニューノーマルな時代に相応した、やすらぎとにぎわいのまちづくりに向けて、区議会一同、全力を尽くしてまいります。

年頭にあたり、新宿区の発展と区民の皆様のご多幸を心より祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

トップニュース

第2回臨時会で可決した 議案



区長提出議案1件を可決

- 令和2年度一般会計補正予算(第9号)
- ・介護及び障害福祉サービス等事業所の職員を対象としたPCR検査業務委託に要する経費

7,149万6千円

関連記事4面

第4回定例会で可決した主な 議案



区長提出議案49件と議員提出議案1件を可決

- 議長、副議長、委員長、副委員長及び議員の12月に支給する期末手当に係る支給月数を「1.50月」から「1.45月」とする。
(令和2年11月30日施行)
7億2,284万1千円
- 令和2年度一般会計補正予算(第11号)
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施した施設利用制限に伴う利用料金収入減及び感染防止用品購入等に伴う指定管理料の増額

5億1,372万9千円 など
関連記事4面

令和3年 第1回定例会のお知らせ

★2月15日から3月17日までの予定です。主な日程は、次のとおりです。

本 会 議	2月15日(月)	予算特別委員会	2月22日(月)～3月8日(月)
	18日(木)	常任委員会	3月10日(水)・11日(木)
	19日(金)	特別委員会	3月12日(金)・15日(月)
	3月17日(水)		

★手話通訳者または要約筆記者を配置できます。事前に議会事務局(TEL5273-3534、FAX3209-9995)までご連絡ください。

★本会議・予算特別委員会は、区議会ホームページでインターネット中継(生中継・録画)を実施します。ぜひご利用ください。

★本会議場の5階傍聴席に、ヒアリンググループシステムを設置しています。また、ヒアリンググループ用受信機を貸し出しています。ご希望の方は、議会事務局にお申し出ください。

2004年に犯罪被害者等基本法が成立し、犯罪被害者は「個人の尊厳が重んぜられ、その尊厳にふさわしい処遇を保障される権利」の主体であることが宣言され、犯罪被害者支援施策は一定の前進を果たしました。しかしながら、犯罪被害者の多種多様なニーズに応えられるだけの整備は、未だ十分になされていないとは言い難い状況です。

犯罪被害者の権利に対応して、国はたゆまず支援施策の充実を進めていく責務を負っており、犯罪被害者支援の充実を図るため、「犯罪被害者が民事訴訟等を通じて迅速かつ確実に損害の賠償を受けられるよう、損害回復の実効性を確保するための必要な措置を講じること」「犯罪被害者の誰もが、事件発生直後から弁護士による法的支援を受けられるよう、公費による被害者支援弁護士制度を創設すること」等を国会及び政府に強く求めました。

今定例会で議決した

意見書(要旨)

意見書の全文は、区議会ホームページをご覧いただくか、議会事務局までご連絡ください。

犯罪被害者支援の
充実を求める意見書

安全で安心な、区民が誇れる
新宿のまちづくりに取り組みます

自由民主党新宿区議会議員団

新年おめでとうございます。
本年は、新型コロナウイルス感染症も収束して、穏やかな一年であってほしいと願います。

一年延期のオリンピック・パラリンピックが万全な対策を期し、新型コロナウイルス感染症を乗り越えて、開催されることを願います。
景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然

として厳しい状況にあり、新宿区の地域経済への影響を考慮した、区の引き続き活性化支援対策を望みます。
私たちは、喫緊の最重要課題である新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策に取り組むとともに、高齢者施策や子育て支援施策などの課題解決に取り組み、区民生活を支える持続可能な新宿のまちづくりを推進してまいります。



佐原 たけし 5期
〒169-0051
西早稲田1-18-15
-404
(3207) 5271



おぐら 利彦 5期
〒160-0004
四谷1-3
(3353) 9000



下村 治生 5期
〒160-0021
歌舞伎町2-42-3
(3200) 7181



宮坂 俊文 7期
〒161-0031
西落合1-25-15-301
(3951) 9848



副幹事長
渡辺 清人 2期
〒162-0067
富久町23-11
(5269) 1515



幹事長
桑原ようへい 3期
〒160-0023
西新宿8-1-8
(3366) 0071



渡辺みちたか 1期
〒161-0032
中落合1-5-5-507
(3950) 0055



永原たかやす 1期
〒162-0801
山吹町355
佐藤ビル203
(6228) 0291



大門 さちえ 2期
〒162-0854
南山伏町1-22
(5946) 8644



池田だいすけ 3期
〒169-0074
北新宿4-23-2
メゾン田中302
090(9571) 6040



吉住 はるお 4期
〒162-0838
細工町1-8
ヴィラK2 302
(3260) 3104

コロナ禍の区政課題に

全力で取り組みます

新宿区議会公明党

新年おめでとうございます。
新型コロナウイルス感染症が長く続いています。公明党は、感染拡大を防止し、区民生活を守るため、区政課題に全力で取り組みます。
喫緊の課題であるデジタル化の推進では、高齢者や障がい者など、あらゆる人が、環境や能力によらず、適切な情報を利用できるよう進めます。また、教育支援では、感染

症対策の充実や心のケアなど、教育環境の整備を進め、小中学校の30人以下の少人数学級への改善を進めます。
さらには、コロナ禍における、台風災害や豪雨災害、巨大地震など、防災・減災対策の取り組みも最重要課題です。区議会公明党は、区民の皆様の声を受け止め、スピード感を持って、課題解決のため



北島としあき 3期
〒169-0074
北新宿1-13-3
(3361) 5315



豊島 あつし 3期
〒162-0041
早稲田鶴巻町537
メゾン三晃302
(3232) 5483



幹事長
野もとあきとし 4期
〒169-0073
百人町3-22-12-102
(3368) 5035



中村しんいち 4期
〒169-0072
大久保2-2-20-502
080(9804) 7326



有馬としろう 5期
〒161-0032
中落合2-12-26-101
(3952) 8354



時光じゅん子 1期
〒161-0032
中落合3-4-17
090(2767) 1179



副幹事長
木もとひろゆき 2期
〒162-0812
西五軒町12-1-B101
070(6474) 7447



副幹事長
三沢 ひで子 2期
〒162-0067
富久町36-10
080(9804) 9740



井下田 栄一 3期
〒160-0012
南元町4-17-512
080(9804) 7330

コロナ禍だからこそ

区民の苦難解決に取り組む区政を！

日本共産党新宿区議会議員団

新年おめでとうございます。
長引くコロナ禍でみなさんのくらしや営業はいかがでしょう。安倍政権から変わった菅政権はコロナ禍でも自助を強調し、支援を求める国民の声に背を向け続けています。
新宿区の財政は昨年度の決算を含め7年間連続黒字で、基金高は年度末576億円あり、不要不急の事業等を中断すれば、財政は十分あります。区

民のくらしと命を守り経済活性化のためには、エッセンシャルワーカーをはじめ希望者へのPCR検査の実施と医療や介護、中小業者などへの補償、非正規労働者や学生などへの経済的な支援が必要です。
少人数学級の早期の実現、医療や福祉などケアを大事にする公助の強化、感染症に強いまちづくりを一層進めるため、今年も頑張ります。



副幹事長
沢田 あゆみ 7期
〒169-0051
西早稲田2-19-1
共美ビル
090(3088) 9591



幹事長
川村のりあき 5期
〒161-0031
西落合1-32-18
070(6510) 8893



団長
近藤 なつ子 7期
〒162-0052
戸山1-16-16-310
090(4849) 3227



高月 まな 1期
〒169-0072
大久保1-3-3セイン
トマンション402
080(5876) 2337



藤原 たけき 1期
〒162-0801
山吹町311
榎本荘1階
070(5371) 5853



雨宮 武彦 8期
〒160-0017
左門町13
仙丈ビル501
090(1544) 5088

議長 吉住 はるお

副議長 北島としあき



新年を迎えて各会派あいさつ

区民の生命・生活を第一に、
新しい生活様式の構築に取り組む

立憲民主党・無所属クラブ

あけましておめでとうござ
います。
昨年は、新型コロナウイルス
感染症拡大の影響により、
あらゆる生産活動が停滞し、
消費が大幅に落ち込み、雇用・
就労・所得環境が急激に悪化
しました。
感染症収束の光は未だ見え
ず、区民生活や中小企業者の
経営環境は極めて厳しい状況
にあります。

今後は、新しい生活様式の
構築に向けて、感染症拡大防
止対策をはじめとした区民生
活全般にわたるさまざまな施
策に取り組んでいかなければ
なりません。

長期間にわたるコロナ禍に
おいて、何よりも区民の生命・
生活を第一に考え、将来を見
据え、会派一丸となって力を
尽くしてまいります。



小野 裕次郎 2期
〒161-0033
下落合1-15-21-610
(6908) 0440



副幹事長 久保こうすけ 3期
〒162-0825
神楽坂6-16
(3260) 0669



幹事長 志田 雄一郎 6期
〒160-0007
荒木町8
カインドステージ
四谷三丁目401
(3355) 0546



田中 ゆきえ 1期
〒169-0075
高田馬場3-34-14
090(8945) 6686



三雲 崇正 2期
〒169-0075
高田馬場1-17-17
山口ビル301
(6380) 3185

区議会議員の寄附行為は法律で禁止されています

1 公職選挙法により、区議会議員等の政治家(候補予定者含む)は、年賀状等の時候のあいさつ状(答礼のための自筆によるものは除く)を出すことを禁じられています。

2 選挙区内の新年会、祭り、学校行事等でお金や物を贈ること
区民の皆様のご理解とご協力をお願いします。

コロナ危機を契機に新たな価値を
創造しつつ区民に寄り添った区政を

新宿未来の会

新型コロナウイルス感染症は、社会生活を一変させ、経済活動に大きな影響を与えました。会社や学校、家庭において行動全般の見直しが行われ、その影響は今も続いています。

各自自治体が行ったコロナ感染症に伴う自粛要請は、社会のデジタル化、オンライン化を一挙に加速させました。新宿区のように人口密集地域で

は、コロナ危機を契機に、公共施設再編と公共空間オープン化を進めることが新たな価値を創造することになります。

感染症拡大防止の取組みと社会経済活動の両立は困難ですが、新宿未来の会は様々な課題に対応できるよう、柔軟に施策の提案を行いつつ、本年も、皆様からのご意見集約に向けて、より充実した議会活動に邁進します。



副幹事長 のづ ケン 6期
〒161-0033
下落合3-16-16-302
(3954) 3573



幹事長 鈴木 ひろみ 3期
〒162-0041
早稲田鶴巻町556
山口ビル2階
070(6578) 8843



えのき 秀隆 7期
〒161-0032
中落合4-6-11
(5983) 8811

命と健康くらしを守る区政実現のため
感染症対策も取り組みがなります

社民党新宿区議会議員団



かわの 達男 8期
〒169-0075
高田馬場1-20-10-303
(3208) 8340

困難を乗り越え、区民主役の
イノベーションあふれる新宿区へ
スタートアップ新宿

イノベーションあふれる新宿区へ



伊藤 陽平 2期
〒161-0031
西落合1-21-7-105
(6667) 4427

本年も、ちいさき声をすくいあげ、
大きな声で議会に届けて参ります！

ちいさき声をすくいあげる会



よだ かれん 1期
〒169-0075
高田馬場
4-27-15-104
(6908) 9617

誰もが安全で安心な生活ができるよう
NHKの不当な要求と全力で闘います

新宿区民を守る会



松田 みき 1期
〒161-0034
上落合2-15-11
中井ハイム102
080(3598) 7812

凡例



会派役職 氏名
当選期数
住所
電話番号

議案の概要と審議結果（賛成…○、反対…×）

会派略称 自 民＝自由民主党新宿区議会議員団 公 明＝新宿区議会公明党
共 産＝日本共産党新宿区議会議員団 民無ク＝立憲民主党・無所属クラブ
新宿会＝新宿未来の会 社 民＝社民党新宿区議会議員団
スタ新＝スタートアップ新宿 ちい声＝ちいさき声をすくいあげる会
新守会＝新宿区民を守る会

令和2年第2回臨時会 （11月5日）

議 案 名			概 要			自民	公明	共産	民無ク	新宿会	社民	スタ新	ちい声	新守会	議決結果
区長提出議案	予算	令和2年度新宿区一般会計補正予算（第9号）	補正予算額：7,149万6千円、補正後予算額：1,996億4,587万円 補正の理由：介護及び障害福祉サービス等事業所の職員を対象としたPCR検査業務委託に要する経費を計上			○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

令和2年第4回定例会 （11月30日～12月9日）

議 案 名			概 要			自民	公明	共産	民無ク	新宿会	社民	スタ新	ちい声	新守会	議決結果
予算（5件）	予 算	令和2年度新宿区一般会計補正予算（第10号）	補正予算額：△2億1,381万6千円、補正後予算額：1,994億3,205万4千円 補正の理由：議員期末報酬及び特別職務手当等（期末手当）0.05月引き下げ等に要する経費、会計年度任用職員の期末手当支給率改定に伴う給与費の減額に要する経費等を計上			○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
		令和2年度新宿区一般会計補正予算（第11号）	補正予算額：7億2,284万1千円、補正後予算額：2,001億5,489万5千円 補正の理由：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施した施設利用制限に伴う利用料金収入減及び感染防止用品購入等に伴う指定管理料の増額に要する経費、新型コロナウイルス感染症への感染が確認された区民に対して支給する見舞金の実績増に伴う増額に要する経費等を計上			○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		令和2年度新宿区国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	補正予算額：△2,783万2千円、補正後予算額：366億9,848万2千円 補正の理由：現員現給による調整及び期末手当支給率改定に伴う給与費に要する経費を計上			○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
		令和2年度新宿区介護保険特別会計補正予算（第2号）	補正予算額：△2,377万9千円、補正後予算額：273億1,355万円 補正の理由：現員現給による調整及び期末手当支給率改定に伴う給与費に要する経費を計上			○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
		令和2年度新宿区介護保険特別会計補正予算（第3号）	補正予算額：694万6千円、補正後予算額：273億2,049万6千円 補正の理由：高齢者総合相談センター移転（2所）に要する経費を計上			○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
条例の改正（12件）	条 例	新宿区使用料その他収入金の督促及び滞納処分に関する条例の一部を改正する条例	地方税法の改正に合わせ、延滞金の割合に係る用語を次のとおり改める。 〔特例基準割合〕→〔延滞金特例基準割合〕			○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		新宿区東京2020オリンピック・パラリンピック区民参画基金条例の一部を改正する条例	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催延期を踏まえ条例の失効日を令和4年3月31日までとする。			○	○	×	○	○	×	○	○	○	可決
		新宿区介護保険条例の一部を改正する条例	・普通徴収に係る介護保険料について、現行の賦課方式（暫定及び確定賦課）を確定賦課のみに一本化するとともに、所要の改正を行う。 ・地方税法の改正に合わせ、延滞金の割合に係る用語を次のとおり改める。 〔特例基準割合〕→〔延滞金特例基準割合〕			○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		新宿区国民健康保険条例の一部を改正する条例	地方税法の改正に合わせ、延滞金の割合に係る用語を次のとおり改める。 〔特例基準割合〕→〔延滞金特例基準割合〕			○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		新宿区後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例	地方税法の改正に合わせ、延滞金の割合に係る用語を次のとおり改める。 〔特例基準割合〕→〔延滞金特例基準割合〕			○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		新宿区リサイクル及び一般廃棄物の処理に関する条例の一部を改正する条例	地方税法の改正に合わせ、延滞金の割合に係る用語を次のとおり改める。 〔特例基準割合〕→〔延滞金特例基準割合〕			○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		新宿区議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	議長、副議長、委員長、副委員長及び議員の12月に支給する期末手当に係る支給月数を「1.50月」から「1.45月」とする。			○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		新宿区長及び副区長の給料等及び旅費条例の一部を改正する条例	区長及び副区長の12月に支給する期末手当に係る支給月数を「1.50月」から「1.45月」とする。			○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		新宿区教育委員会教育長の給料等及び勤務等に関する条例の一部を改正する条例	教育長の12月に支給する期末手当に係る支給月数を「1.50月」から「1.45月」とする。			○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		新宿区職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	令和2年特別区人事委員会の勧告を受け、職員の期末手当及び勤勉手当の年間の支給月数（現行4.65月（再任用職員は2.45月）を0.05月引き下げ、4.60月（再任用職員は2.40月）とし、引き下げ分は、期末手当に割り振る。			○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
		新宿区会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	会計年度任用職員の期末手当の年間の支給月数（現行2.60月）を0.05月引き下げ、2.55月とする。			○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
		新宿区幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	令和2年特別区人事委員会の勧告を受け、幼稚園教育職員の期末手当及び勤勉手当の年間の支給月数（現行4.65月（再任用職員は2.45月）を0.05月引き下げ、4.60月（再任用職員は2.40月）とし、引き下げ分は、期末手当に割り振る。			○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
区長提出議案（49件）	区 長 提 出 議 案	公の施設の指定管理者の指定について	その他（30件）	四谷地域センター（内藤町87番地）	・・・四谷地域センター運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
				牛込竈管地域センター（竈管町15番地）	・・・牛込竈管地域センター管理運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
				榎町地域センター（早稲田町85番地）	・・・榎町地域センター管理運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
				若松地域センター（若松町12番6号）	・・・若松地域センター管理運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
				大久保地域センター（大久保二丁目12番7号）	・・・大久保地域センター管理運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
				戸塚地域センター（高田馬場二丁目18番1号）	・・・戸塚地域センター管理運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
				落合第一地域センター（下落合四丁目6番7号）	・・・落合第一地域センター管理運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
				落合第二地域センター（中落合四丁目17番13号）	・・・落合第二地域センター管理運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
				柏木地域センター（北新宿二丁目3番7号）	・・・柏木地域センター管理運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
				角筈地域センター（西新宿四丁目33番7号）	・・・角筈地域センター管理運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
				赤城生涯学習館（赤城元町1番3号）、戸山生涯学習館（戸山二丁目11番101号）、北新宿生涯学習館（北新宿三丁目20番2号）、住吉町生涯学習館（住吉町13番3号）、西戸山生涯学習館（百人町四丁目7番1号）	・・・公益財団法人新宿未来創造財団	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
				新宿コスミックスポーツセンター（大久保三丁目1番2号）	・・・公益財団法人新宿未来創造財団	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
				大久保スポーツプラザ（大久保三丁目7番42号）	・・・公益財団法人新宿未来創造財団	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
				西戸山公園野球場（百人町四丁目1番）、落合中央公園野球場（上落合一丁目2番）、西落合公園少年野球場（西落合二丁目19番）、甘泉園公園庭球場（西早稲田三丁目5番）、西落合公園庭球場（西落合一丁目19番）、落合中央公園庭球場（上落合一丁目2番）、妙正寺川公園運動広場（中野区松が丘一丁目33番）	・・・公益財団法人新宿未来創造財団	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
				新宿文化センター（新宿六丁目14番1号）	・・・公益財団法人新宿未来創造財団	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
				新宿歴史博物館（四谷三栄町12番16号）	・・・公益財団法人新宿未来創造財団	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
				林芙美子記念館（中井二丁目20番1号）	・・・公益財団法人新宿未来創造財団	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
				佐伯祐三アトリエ記念館（中落合一丁目4番21号）	・・・公益財団法人新宿未来創造財団	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
				中村轟アトリエ記念館（下落合三丁目5番7号）	・・・公益財団法人新宿未来創造財団	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
				漱石山房記念館（早稲田南町7番地）	・・・公益財団法人新宿未来創造財団	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
				障害者福祉センター（戸山一丁目22番2号）	・・・社会福祉法人新宿区障害者福祉協会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
				新宿生活実習所（弁天町50番地）	・・・社会福祉法人東京都手をつなぐ育成会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
				下落合地域交流館（下落合三丁目12番33号）	・・・特定非営利活動法人ワーカーズコープ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
				富久町保育園（富久町22番21号）	・・・社会福祉法人新栄会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
				富久町児童館（富久町22番21号）	・・・社会福祉法人新栄会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
				新宿中央公園（西新宿二丁目11番）	・・・新宿中央公園パークアップ共同体	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
				女神湖高原学園（長野県北佐久郡立科町大字芦田八ヶ野字赤沼平994番地）	・・・信州リゾートサービス株式会社	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
				新宿スポーツセンター（大久保三丁目5番1号）	・・・新宿スポーツテック&サイエンス共同事業体	○	○	×	○	○	×	○	×	○	可決
				新宿区四谷特別出張所等区民施設特定天井等改修その他工事請負契約	四谷特別出張所等区民施設特定天井等改修その他工事のため、請負契約を締結する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
				新宿区柏木特別出張所等区民施設地下1階及び1階空調換気設備改修その他工事請負契約	柏木特別出張所等区民施設地下1階及び1階空調換気設備改修その他工事のため、請負契約を締結する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	人事関係案件	新宿区教育委員会委員任命の同意について	同意	今野雅裕氏			○	○	○	○	○	○	○	○	同意
		新宿区教育委員会委員任命の同意について		年綱和代氏			○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議 出 議 案	意見書	犯罪被害者支援の充実を求める意見書	1面の「意見書（要旨）」をご覧ください。			○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

令和2年度上半期 政務活動費の各会派収支報告（令和2年4月～9月分）

○収入・・・区が会派に対して交付した金額。月額15万円に会派の人数を乗じた金額です。
○年度末に生じた残額（収入－支出合計）は、区へ返還されます。なお、支出合計が収入を上回った場合でも、政務活動費は追加交付されません。
●政務活動費・・・地方自治法に基づき「新宿区政務活動費の交付に関する条例」を制定し、議員（会派）の調査研究その他の活動に必要な経費の一部として、区が会派に交付しています。
●政務活動費は、次の使途に用いることはできません。
①政党活動、後援会活動、選挙運動、あるいは個人への利益のために要する経費としての支出 ②日当（1日あたりの決まった手当）としての支出 ③寄付金、賛助会費等、公職選挙法に抵触するものへの支出 ④交際費に要する経費への支出（結婚式の祝い金、香料、見舞金等）

		（単位：円）		支 出									支出合計	
会派名・人数		収入	調査研究費	研修費	広報費	広報費	広報費	委託・関係活動費	会議費	資料費	人件費	事務費		
自由民主党新宿区議会議員団	11	9,900,000	148,374	1,720	4,379,604	85,640	0	0	0	526,729	2,010,000	1,400,326	8,552,393	
新宿区議会公明党	9	8,100,000	0	60,000	1,480,311	810	0	0	0	625,360	0	1,532,925	3,699,406	
日本共産党新宿区議会議員団	6	5,400,000	0	12,614	2,975,181	728,222	0	0	0	182,483	193,272	995,924	5,087,696	
立憲民主党・無所属クラブ	5	4,500,000	32,827	0	1,043,521	3,360	3,580	0	0	88,116	827,000	144,092	2,142,496	
新宿未来の会	3	2,700,000	9,370	0	562,132	0	0	0	0	0	230,220	644,244	1,445,966	
社民党新宿区議会議員団	1	900,000	15,000	0	398,949	60,000	0	0	0	25,800	0	352,124	851,873	
スタートアップ新宿	1	900,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ちいさき声をすくいあげる会	1	900,000	50,000	25,000	75,900	14,760	0	0	0	116,242	50,000	44,511	376,413	
新宿区民を守る会	1	900,000	0	0	555,500	0	0	0	0	0	150,000	134,157	839,657	
合 計		34,200,000	255,571	99,334	11,471,098	892,792	3,580	0	0	1,564,730	3,460,492	5,248,303	22,995,900	

※上記は令和2年10月末時点での報告額です。年度末に令和2年度支出額が確定します。

他都市からの視察（令和2年7月～12月）

新宿区には、全国の自治体の議会（委員会・会派・議員）が施策調査のため視察に訪れています。

視察日	議会名	調査内容
8月14日	東京都小平市議会	新宿区立学校におけるICT活用状況について
11月13日	東京都江東区議会	新宿区立障害者福祉センターについて

令和2年度上半期 議長交際費支出状況（令和2年4月～9月分）

○議長交際費とは
円滑な議会運営を図るため、議長が議会を代表して各種行事や接遇・儀礼など対外的な活動をするために支出する経費です。
○毎月の執行額について
月ごとの集計額を翌月に区議会ホームページで公表しています。平成29年4月分以降をご覧ください。（単位：円）

支出先	会 費		見舞い		弔 慰		接 遇		合 計	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額
町 会	0	0	0	0	2	10,000	0	0	2	10,000
地 域 団 体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
商 店 会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
各種関係団体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他	0	0	0	0	1	10,000	0	0	1	10,000
合 計	0	0	0	0	3	20,000	0	0	3	20,000

区議会ホームページもご覧ください！

新宿区議会

検索



区政のことを問う

コロナ禍における事業者支援策の強化を

新宿区議会公明党

代表質問



野もとあきとし

質問 新宿区が3月から開始した商工業緊急資金（特例）は、貸付期間が5年以内（据置期間6か月以内）であり、11月から返済が始まる事業者が、資金シヨートによる倒産や先が見えないコロナ禍の状況で、廃業を余儀なくされる場合も一定程度起こりうる。①令和2年12月まで実施予定の専門家活用支援事業を年度末まで延長し、②現行活用できる各種補助金等の受給状況の確認から事業承継の対応等まで、様々な経営課題を相談ができる専門家による無料相談会を定期的に開催すべき。

答弁 ①本事業は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた区内中小企業等の方が、販促計画をはじめとする事業計画の策定や各種補助金等の申請にあたり、専門家の支援を受けた際にかかる費用の補助を行うもので対象期間を12月31日まで、申請期間を令和3年1月31日までとしている。しかし、現在感染が拡大傾向にあり、中小企業者への支援を引き続き行う必要性が高いため、年度末までの延長を早急に検討する。②国や都、区

が実施している各種給付金等の手続きの確認や事業再編等の相談を気軽に行える場として、専門家による無料相談会を実施の方向で検討する。



事業者支援として「無料相談会」の開催を

さらなる防犯対策の推進を

質問 新宿区はこれまで、区民、事業者、警察などと互いに連携し、地域団体による自主パトロールの支援や警察と連携した合同パトロールやイベントを行い、防犯活動を実施してきた。しかし、地域の防犯ボランティア団体は、コロナ禍における感染症対策の影響で様々な防犯活動や見守り活動などが実施できない状況である。そのため、子どもや女性に対する声掛けや、つきまとい事案、高齢者を狙った凶悪なアポ電強盗等が増加している。新しい生活様式を踏まえた地域防犯活動の在り方を考慮しながら、コロナ禍における

防犯対策をさらに推進すべき。
答弁 9月から繁華街で再開した防犯パトロールに、区の職員を派遣して地域団体の活動を支援している。また、コロナ禍における新たな取組みとして、戸塚地域では、町会役員が自家用車で定期的にパトロールを行うなど、工夫を凝らした活動事例もある。都では、「街の安全みまもり事業」を開始し、都民等の防犯意識の向上を図っている。区では、繁華街や戸塚地域等の活動事例を他の防犯組織に情報提供するとともに、都の事業をHPや広報新宿等で紹介し、区民一人ひとりの防犯意識の醸成に取り組む。

コロナ禍における聴覚障害者への支援を

聴覚障害者への支援を

質問 新型コロナウイルス感染症の影響により、手話通訳者が同席できないケースやマスク着用のために口の形でコミュニケーションを図る「口話術」を使えないケースが発生した。新型コロナウイルス感染症の拡大や災害時など、手話通訳者を派遣できない

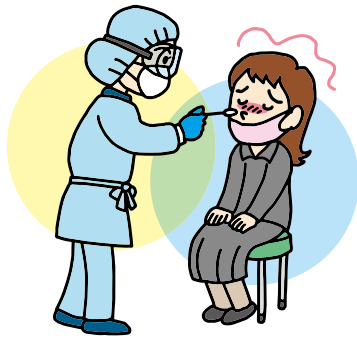
場合に、区役所窓口などでスマートフォンなどのビデオ通話機能を使い、聴覚障害者と健常者の会話をオペレーターが手話通訳する遠隔手話通訳サービスを実施する自治体が増えている。区でも、①現行の手話通訳者派遣事業に加え、遠隔地に常駐する手話オペレーターを介して、手話通話を提供する遠隔手話通訳サービスを実施すべき。②聴覚に障害があっても話せる方や筆談による支援が必要な方にもICTによる聴覚障害者の意思疎通の支援体制を整備すべき。

答弁 ①本庁舎に配置している手話通訳者に加えて、遠隔手話通訳等に対応した窓口用タブレット端末を本庁舎と各分庁舎で使えるようにするほか、全ての特別出張所にもタブレット端末を配備し、遠隔手話通訳等を利用できるようにしていく。②このタブレット端末は、音声言語の文字化及び筆談機能も利用できる。また、聴覚障害者をお持ちのスマートフォンでも窓口での遠隔手話通訳が利用できるよう整備する予定。

第二次実行計画素案の抜本的改善を

抜本的改善を

質問 第二次実行計画は2021年1月に決定予定だが、第一次実行



PCR検査の対象者拡大を

すべき。
答弁 ①必要なPCR検査を実施した。1人出たら全体に検査実施とはしていない。②(ア)前年度より採用拡大する予定。(イ)必要な人員を増配置する。③相談業務はマスク消毒で感染予防は可能。

ポストコロナ時代における新宿区の持続的な発展

立憲民主党・無所属クラブ

代表質問



三雲 崇正

質問 区は、商業施設や医療機関等が高度に集積する「都市集積」が新宿区の強みと分析する一方、新型コロナウイルス感染症により、集積の負の影響も指摘している。密集・密接を避けた集積形成のための区の施策は。

答弁 集積による感染リスクを抑えながら区民に魅力的な場を提供するため、感染予防と拡大防止を区民等に定着させた上で、店舗の感染予防等の支援や

ICT教育の推進

質問 ①区立小中学校のタブレット端末のフィルタリングが厳しく、学習に不都合が生じている。十分なりテラシー・モラル教育の下でバランスの取れたフィルタリングを行うべき。②毎年11億円程度を要するGIGAスクール構想に基づくICT教育の経費の財源担保を国や都に要望すべき。

区内産業の魅力発信など、総合的に推進し、感染予防と社会経済活動を両立させていく。

【答弁】 ①情報リテラシーやモラル教育を行っており、今後も、フィリタリング基準の検討や、専門家の授業支援などを行い、ICT教育を推進する。
②今年度は端末調達経費に国の補助があったが、来年度以降は補助の予定がない。国や都に補助を要望しており、今後も継続する。



情報リテラシーやモラル教育の推進を

文化観光施策と区役所本庁舎の建設計画

新宿未来の会

代表質問

のづ ケン



【質問】 ①将来に向けてどのような観光施策を検討するかが現在の課題である。新型コロナウイルスが収束した後の時代を見据えて、新宿の観光資源を新宿の魅力として有効的に発信していくように様々な映像コンテンツを作り出していくべき。②区役所本庁舎は建設から既に50年以上が経過している。スケジュールも含めて具体的な検討に入る必要性があるのではないか。

【答弁】 ①文化芸術復興支援事業の「Re:Shinjuku」



新宿の観光資源の魅力的な情報発信を

コロナ禍で求められる区の対応

自由民主党新宿区議会議員団

代表質問

池田 だいすけ



【質問】 11月9日の政府の新型コロナウイルス感染症対策分科会では、社会活動と感染対策を両

立できるよう国民や自治体、国に求められる対応をまとめた緊急提言が発せられた。区に求められる対応をどのように認識し、区民に求められることについて、どのように働きかけるのか。

【答弁】 クラスター対応体制の強化、対話のある情報発信、店舗等での感染防止策の実践などの推進が重要。具体的には、クラスター発生を未然に防止するための初期スクリーニング集団検査体制の増強や、様々な媒体を活用した感染対策周知の充実を行う。併せて、「新宿区繁華街新型コロナウイルス対策連絡会」を通じた経営者等との協力体制強化や、店舗等の感染防止策支援なども実施。また、飲食店に感染予防の資料や支援事業の一覧を送付。

「新たな日常」での地域づくり

【質問】 地域コミュニティへの関心が希薄化している一方、コロナ禍で自宅にいる機会も増え、改めて地域に関心を寄せ、役割を見つめ直す人が増えたと言われる。また、コロナ禍において、連絡用にメールを活用する須賀町町会の取組みが新聞で紹介された。こうした先駆的な取組みを参考に、「新たな日常」における町会・自治会づくりを議論するチャンスだ。区の考えは。

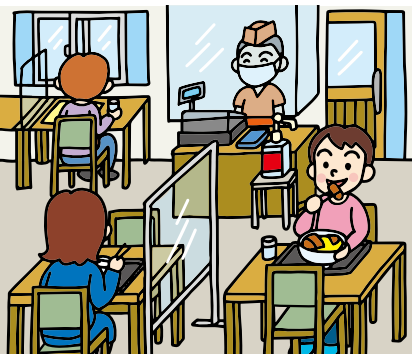
【答弁】 コロナ禍での地域活動の好事例について、区として集約し、新宿区町会連合会定例会で共有する。また、若手中心のメーリングリストによる情報提供など、「新たな日常」における町会・自治会活動を若手が担うきっかけづくりに取り組む。

商店街・中小企業と地域社会

【質問】 商店街の商店主など中小企業経営者は、昔より地域づくりを担ってきた。今後、地域での触れ合いや地域社会づくりが

より大切になる中、商店街や中小企業の支援について、地域社会のニーズに応える役割や機能を高める方向に発想を転換することが必要だ。区の認識は。

【答弁】 商店街及び中小企業は様々な地域活動を行っている認識。これらの支援とともに、総合評価落札方式で地域活動を評価項目に加えるなど、地域社会の一員としての活動が企業活動にも有益となる制度を取り入れ、地域の一員として様々な役割を担ってもらう。



社会活動と感染対策の両立のための支援を

道徳教育の充実

【質問】 10月23日の文部科学大臣の記者会見で、道徳教育の充実に取り組む旨の発言があった。この道徳教育は、小学校では平成30年度から、中学校では31年度に教科化が始まったところだが、取組み状況と課題は。

【答弁】 授業前に日頃の生活を振り返るアンケートを実施し、その結果を用いた問題解決的な学習や、日常生活に結びつけて自己を見つめる時間を設定し、学びを深める等工夫している。課題は、児童・生徒が道徳的実践力を高められるよう授業をより充実させることで、各学校に授業改善の働きかけを行っている。

一般質問

ちいさき声をすくいあげる会



よだ かれん

搾乳ママへの配慮と

飼い主のいない猫対策の方向性

【質問】 ①搾乳ママが授乳室を利用しやすくするため、区施設の「授乳室」の表示を「授乳・搾乳室」とするほか、子育てガイド・広報等で周知・啓発すべき。②飼い主のいない猫

新宿区民を守る会



松田 みき

NHKの弁護士法

第72条違反とその対策を

【質問】 ①NHKの職員ではない訪問員がNHKの代理として放送受信料を請求するのは弁護士法に抵触するのでは。②この行為にどう対処すべきか。③放送受信料も税金と同様5年で

社民党新宿区議会議員団



かわの 達男

新宿区障害者計画等

【質問】 ①3年ごとに策定される障害者計画等の素案の重点課題と特徴は。②障害当事者の声をどう取り入れたか。③障害者グループホームの整備の今後の見通しは。④障害者就労支援施設の多くは民設民

時効にすべき。区として国に要望する考えは。
【答弁】 ①NHKの行為が弁護士法に抵触するかは司法が判断するもの。②日々の相談等は消費者庁を通じ、NHKを管轄する総務省にフィードバックされる。③国に要望する考えはない。区民の相談等には引き続き丁寧に対応し、注意喚起をしていく。
【答弁】 ①主に成年後見制度の利用促進と障害者の社会参加の推進。②障害者生活実態調査を基に障害者施策推進協議会で審議。③計画の2カ所以外に活用できる物件があれば整備につなげる。④今後も適切な助成制度を検討。

スタートアップ新宿



伊藤 陽平

コロナによる税収減に備え、さらなる行財政改革を

質問 令和3年度予算編成が行われているが、人件費の配賦や施設の減価償却などを含めたフルコストを算出し、費用対効果の検討が重要。費用対効果はどのように考慮されるのか。

答弁 予算執行が適正か、経費に見合った実績となっているかなどを検証。また、行政評価では事業の達成度、効率性及び成果等の分析と検証を行い、その結果を踏まえ、事業の拡充、手段改善等の方向性を示している。これらを十分踏まえ、計画策定・予算編成に反映する。

新宿区議会公明党



三沢 ひで子

子どもたちへの安全対策と居場所の確保

質問 ①学校から児童クラブに通う道路にある危険箇所への安全対策は。②かねてより要望していた安全な放課後の居場所の確保の取組みは。

答弁 ①昨年度から通学路交通安全プログラムの対象に加えた。今年度は児童クラブ要望の箇所を交通管理者等が合同点検し、看板設置等により安全を確保する。②天神小学校の放課後の居場所として、令和3年4月から「ひろばプラス」の設置を目指す。

日本共産党新宿区議会議員団



高月 まな

鉄道駅の改札口、ホームのバリアフリー化を

質問 ①大久保駅、西武新宿駅、新宿御苑前駅の2ルート目のバリアフリー化を、②区内全ての駅のホームと車両の段差・隙間

の解消を、③新大久保駅にJRの負担で新たな改札口の設置を、各鉄道事業者に要請すべき。
答弁 ①1ルートだけでは遠回りなため、バリアフリールートの最短化を鉄道事業者に働きかけている。②対策は必要と認識し、進捗状況を確認していく。③現時点で要請の考えはない。

立憲民主党・無所属クラブ



田中 ゆきえ

養育費保証制度等の実施を

質問 ひとり親家庭の養育費不払い対策として、養育費立替保証事業の実施や、^{*}ADRを周知、活用する相談体制の導入について積極的な検討をお願いします。

答弁 ひとり親家庭に対し、児童扶養手当や医療費助成などの経済的支援のほか、生活全般の相談に応じています。養育費に関しては家庭相談員が専門的見地から相談に対応しています。養育費立替保証事業や、ADRの経費助成は、先行自治体の事業実績を調査し、研究します。

新宿未来の会



えのき 秀隆

コロナ禍での区の組織強化を

質問 ①新型コロナウイルス感染症対策では、これまでの業務に加えて兼務体制が多く取られた。組織運営について一定の検証を行い、次なる危機へ備える

ことも大事である。現状分析は。②災害時などの有事の対応には人員不足が予想される。職員OBや一時離職者などを登録し、業務補助を行う協定の検討を。
答弁 ①今後も必要な部署に人員を増配置するなど組織強化を図っていく。②国・都・他自治体の事例などを研究していく。

自由民主党新宿区議会議員団



大門 さちえ

電子申請の推進

質問 区では、約1200ある申請等の事業のうち47事業で電子申請に対応している。その中の「児童手当・特例給付現況届」では、毎年約200件が電子データによる

届出となっているが、システムに連動していないため、郵送と同じく職員が入力している。電子データをそのままシステムに取り込むようにすべきでは。
答弁 現在取り組んでいるICT利活用による業務手順等の見直しを行う中で、電子データを効率的に取り込む検討を進めている。

日本共産党新宿区議会議員団



藤原 たけし

区営駐輪場の民営化撤回を

質問 ①募集要項では早稲田駅B区画と若松河田駅区画の一部廃止や5カ所の定期利用全廃で少なくとも727台廃止し、さらに台数減の可能性もある。なぜ定

期利用を大幅削減するのか。②利用料大幅値上げをどう考えるのか。③利用者の意見を聞かず詳細不明のままの条例「改正」・民設民営化は撤回すべき。
答弁 ①定期利用は時間利用で代替可能。②一部利用者で負担が増える場合があることは認識。③民設民営化撤回の考えはない。

立憲民主党・無所属クラブ



志田 雄一郎

繁華街のごみ不適正排出対策

質問 ①繁華街におけるごみの不適正排出に対する区の考え方を定期的に地域の方々に示すべき。②ごみの適正排出に向けてビルのオーナーや不動産業界

と協力して取組みを進めるべき。
答弁 ①区の考え方を地域の皆さまに示し、ご理解とご協力を得ながら集積所の適正な維持管理に努める。②今後、ビルのオーナーや管理者に対して適正なごみの排出方法を周知する。また、不動産業者に対し、周知の協力を依頼するなど連携を図る。

新宿未来の会



鈴木 ひろみ

東京2020大会に向けての取組み

質問 大会の開催、延期、中止の意見がある中、開催に向けて、①人々の生活に潤いや希望をあたえ、区民の気運を盛り上げる必要がある。区の気運醸成

の取組みは。②感染症対策に関して、区の課題とその対応は。
答弁 ①感染症の動向に留意し、十分な対策を講じてイベントを実施し、気運醸成を進める。②区民、来訪者や事業者等が感染症対策の徹底を図ることが必要。より一層の普及啓発を図るとともに、適切に指導を行っていく。

自由民主党新宿区議会議員団



下村 治生

子どもを虐待から守るために

質問 ①児童相談所開所にあたり、どんな機関が具体的に周知していくべき。②虐待の連鎖を断つため、日頃から親との接触が重要だが、区の取組みは。

答弁 ①子どもを一時保護する「介入」と家庭環境の改善を目指す「支援」の機能を持ち、役割が理解されるよう周知する。②子ども総合センター等で「子どもと家庭の総合相談」として相談や虐待へ対応。また、今年度から親と子のひろばで、月1回の心理職員による相談を実施。

自由民主党新宿区議会議員団



永原 たかやす

介護家族の心の疲弊への対応

質問 新宿自治創造研究所のレポートによると、今後10年で区の75歳以上の高齢者は200人以上増加する見通しだ。このような高齢化が予想される中、介護等

が必要な高齢者を支える家族の心の疲弊に対して、どのような支援を行っているのか。
答弁 介護者リフレッシュ支援事業としてヘルパーの派遣や、認知症高齢者の介護者を対象にした専門医による相談を実施。今後も介護者同士の交流や相談体制の充実等の支援を進める。

自由民主党新宿区議会議員団



渡辺 みちたか

地方と共に発展できる連携を

質問 人口減少が進む中、生産地である地方の衰退は消費地である東京にも大きな影響がある。区の総合戦略の基本目標「地方と連携し共に発展する」

は、消費地・新宿として地方にどう向き合い、どう経済的な連携を深めるのか。
答弁 ふれあいフェスタ等での地方特産品の購入機会の提供や、伊那市木材を活用した誕生日品の支給などを実施。今後、民間交流も活性化し、連携を深化、共に発展する取組みを進める。

委員会の動き

特別職の報酬に関する条例等の

議案のほか補正予算等を審査

総務区民委員会

●今定例会では、議案27件を審査し、1件の報告を受け、質疑を行いました。

●議案審査では、区議会議員の報酬改定を内容とした一部改正条例、区長・副区長の諸手当等の改定を内容とした一部改正条例、特別区人事委員会勧告による職員の給与改定を内容とした一部改正条例などの議案4件、これらに関連した補正予算3件のほか、区内10カ所の地域センターや、生涯学習館・新宿コズミックス

●報告案件では、「工事請負契約の締結について」1件の報告を受け、質疑を行いました。

新宿区介護保険条例の一部を改正する

条例などの議案を可決

福祉健康委員会

●今定例会では、議案11件と陳情3件を審査し、12件の報告を受け、質疑を行いました。

●報告案件では、「新型コロナウイルス感染症に関する対応について」や「新型コロナウイルス感染者に対する配食サービスについて」、「重症心身障害児通所施設の整備について」など12件の報告を受け、質疑を行いました。

●議案審査では、「新宿区介護保険条例の一部を改正する条例」など条例改正3件、「公の施設の指定管理者の指定について」3件及び補正予算5件など議案11件を審査し、全員賛成で可決しました。

●陳情審査では、新たに付

令和2年度新宿区一般会計補正予算など

4件の議案を審査

環境建設委員会

●今定例会では、議案4件と陳情1件を審査し、5件の報告を受け、質疑を行いました。

●議案審査では、「新宿区リサイクル及び一般廃棄物の処理に関する条例の一部を改正する条例」、「公の施設の指定管理者の指定について」、「令和2年度新宿区一般会計補正予算(第10・11号)中歳出第9款土木費」について審査し、全員賛成で可決しました。

●報告案件では、「都市計

保育園等の公の施設の指定管理者の

指定などの議案を可決

文教子ども家庭委員会

●今定例会では、議案7件と陳情1件を審査し、10件の報告を受け、質疑を行いました。

●議案審査では、「新宿区幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例」とこれに関連した補正予算1件を賛成多数で可決しました。また、コロナ禍で中止決定された修学旅行等の代替学校行事の支援を含む補正予算1件や、「公の施設の指定管理者の指定について」など4件の議案を

防犯活動や新宿区国土強靱化地域計画、

防災訓練について議論

防災等安全対策特別委員会

●今定例会では、「本年の防

け、質疑を行いました。区内犯罪認知件数は減少傾向にありますが、依然として特殊詐欺被害が多く発生し、また、子どもや女性に対する犯罪等が増加しています。コロナ禍においても、町会・自治会等を中心とした地域の自主防犯活動が重要です。また、10月20日の委員会では「新宿区国土強靱化地域計画の策定について」、

令和3年度新宿区議会に関する

アンケート調査実施に向け議論

自治・議会・行財政改革等特別委員会

●今定例会では、調査事件1件を議題としました。

●「議会改革について」を議題とし、令和3年度に実施する予定の「新宿区議会に関するアンケート調査」について、平成29年度に行った前回アンケート調査の実績を、議会事務局より報告を受け、それを踏まえて令和3年度のアンケート調査に向けた意見交換を行いました。

●意見交換では、前回アン

東京2020オリンピック・パラリンピック区民

参画基金条例の改正など8件の議案を審査

オリンピック・パラリンピック・文化観光等特別委員会

●今定例会では、議案8件と陳情1件を審査し、1件の報告を受け、質疑を行いました。

●議案審査では、東京2020オリンピック・パラリンピック区民参画基金の運用期間を延長する条例改正につい

家賃減額助成をテナント・とししました。

●報告案件では、区内中小企業・個人事業主の専門家に活用支援事業の延長などに出されましたが、各会派の意見が一致せず、審査未了を行いました。

皆様から託された

請願・陳情の審議結果

請願・陳情の内容は、区議会ホームページをご覧ください。

(「」は審査を行った委員会名)

継続審査 1件(新たに提出されたもの)

□立ち入り検査に関する陳情

〔福祉健康委員会〕

審議未了 5件

□国は国内に「医療用品」を生産する国策会社を設立すべきとの意見書を厚生労働省に提出する事に関する陳情

〔福祉健康委員会〕

□新型コロナウイルスの感染拡大を防止し区民の命とくらしを守るためにPCR検査の拡大を求める陳情

〔福祉健康委員会〕

□羽田新飛行ルートの説明会開催を国土交通省に求める陳情

〔環境建設委員会〕

□認可保育園の在園要件に関する陳情

〔文教子ども家庭委員会〕

□店舗等家賃減額助成をテナント・賃借人に直接支給するように求める陳情

〔オリンピック・パラリンピック・文化観光等特別委員会〕

あとがき

あけましておめでとうございます。謹んで区民の皆様のご多幸とご健康をお祈り申し上げます。

今年も区議会を身近に感じていただけるような紙面づくりに努力してまいります。

本紙についてのご意見、ご要望がございましたら、議会事務局までお寄せください。

編集委員
吉住 はるお
北島 としあき
渡辺 清人
三沢 ひで子
川村 のりあき
田中 ゆきえ
えのき 秀隆